

西組まるごとプレーパーク！！

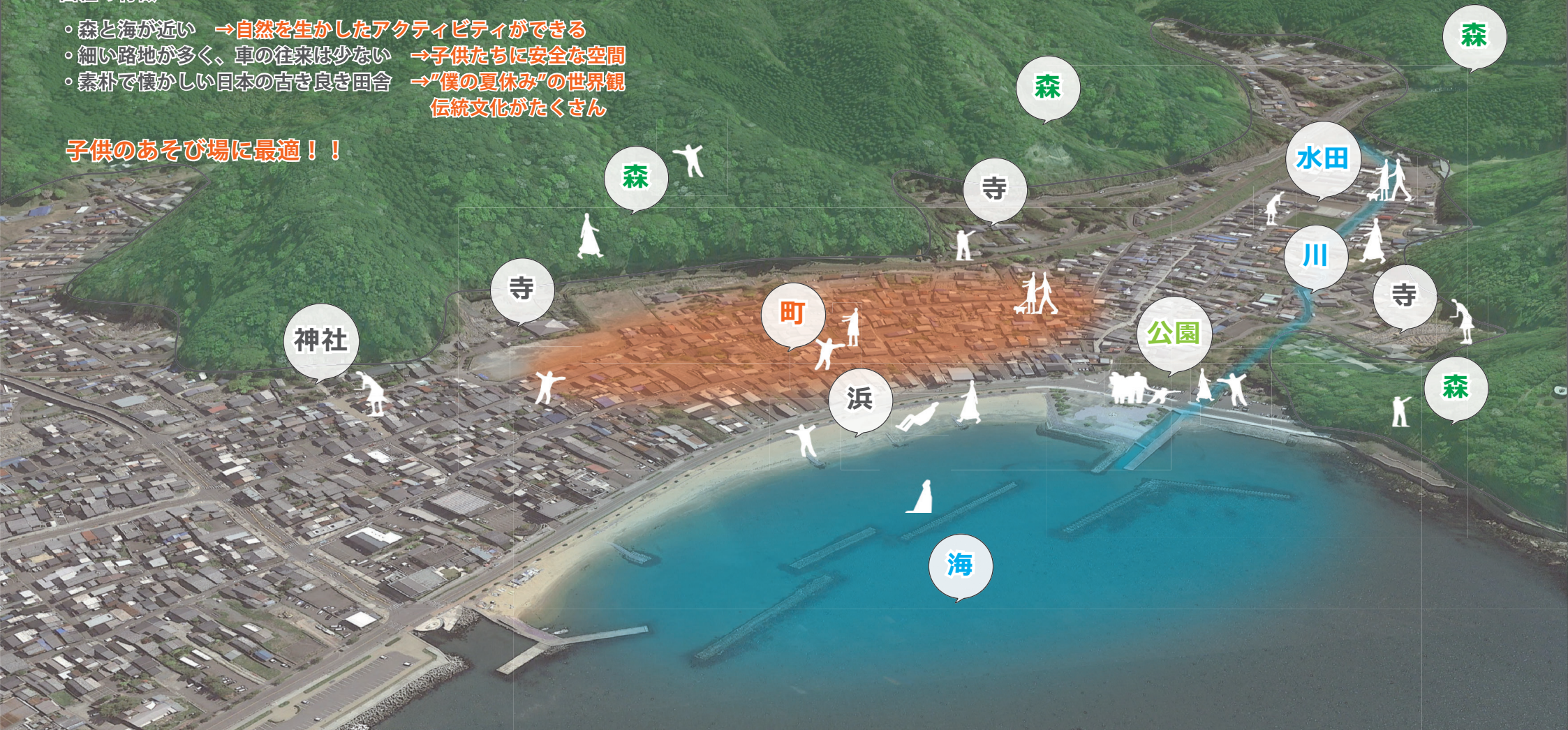
-空き家を活用して、子供たちの「あそび」を創出する-

西組の特徴

- ・森と海が近い →自然を生かしたアクティビティができる
- ・細い路地が多く、車の往来は少ない →子供たちに安全な空間
- ・素朴で懐かしい日本の古き良き田舎 →“僕の夏休み”の世界観
伝統文化がたくさん

子供のあそび場に最適！！

まちがまるごとあそび場！！



プレーパークとは？

公園の遊具などがある遊び場とは違い、子供たちの自由な想像力で工夫して遊びを作り出すことのできる遊び場。
日本だと羽根木プレーパークなどが有名。
まちまるごとプレーパークは前例はないと思われる。



羽根木プレーパークの例

西組でできる「あそび」一例！！

自然と文化が豊かな西組では、子供たちの感性を刺激する様々な「あそび」をすることができる。

■町あそび

- ・ 民家探検
- ・ ロゲイニング（宝探し）
- ・ おにごっこ、かくれんぼ
- ・ 伝統文化であそぶ



歴史的な街並みで隠れんぼ

■森あそび

- ・ クーゲンバーン（玉遊び）
- ・ 虫取り
- ・ ツリーハウスづくり
- ・ どんぐり拾い



森で地形を生かした玉遊びやツリーハウスづくり

■海あそび

- ・ 砂浜遊び
- ・ SUP、ボディボード
- ・ 魚釣り
- ・ 生き物集め



海を自由にあそび尽くす

■野あそび（小浜公園）

- ・ 火起こしで料理
- ・ 落ち葉のプール
- ・ どんぐり遊び
- ・ ブランコづくり



公園を使い、やりたいあそびをやる

■寺社あそび

- ・ 和尚さんとあそぶ
- ・ おそうじあそび
- ・ 写経あそび



少し神秘的な空間であそんでみる

■雪あそび（小浜公園）

- ・ かまくらづくり
- ・ 雪合戦
- ・ 雪だるまづくり



小さな雪遊びをしよう

あくまで一例。子供自身で考える！！

空き家の活用方法！！

-地域全体がプレーパーク-



色々な場所に
大人のプレーリーダーを配置。あそびの補助。

こどものあそび場が地域に面的にあることで
遊休地を活用しつつ、大きな回遊性を生み出す。

3.アジト-3「三丁町の町家（平屋）」 子供たちと住民のふれあいスペース

町民の方に地元の遊びを覚えてもらうことのできる場所。庭でベーゴマなど昭和なあそびも一緒にやる。



地域の人にあそびを
教えてもらう！！

4.大人のアジト「三丁町の町家（2階建て）」 コワーキングスペース

子供のあそび付き合わない親は、隠れ家的コワーキングスペースでワーケーションを楽しむ。子供とあそびたくなったらすぐに会いに行ける。



大人の秘密基地！！

西組プレーパークの仕組み

プレーパークを利用する場合、1日定額でお金を払ってもらい、自由に遊べる。（飲み物・お菓子はアジトで食べ飲み放題。）泊まる人は別途宿を紹介。

1.アジト-1「紙屋吹安」 プレーパークのレセプション

まず、西組に来たらここでチェックイン。荷物を預り、こども達は早速「あそび」開始！！大人はここで休憩するのもよし。



レセプション

伝統的建造物群保存地区のこと、
やっていいこと、
だめなことをしっかりレクチャ。
情操教育にもつながる。

小浜町家ステイのレセプション
も兼ねる！！

2.アジト-2「元呉服屋」 子供たちの秘密基地兼駄菓子屋

こども達専用のスペース。室内で自由に遊べる。友達作りも。駄菓子屋を併設することで、店舗としても利用。色々なお客さん呼び込む。



秘密基地
兼駄菓子屋！！



一部をクライミングスペースに！！

事業計画・体制！！

事業主体としての会社を設立、メインの収入としては自治体から指定管理を受け、公園や施設の管理を行う。プラス、プレーパーク利用費を利用者からいただく。プレーパークを担うプレーリーダーは住民やバイトの登録制にする。地域住民の日常的な利用（学童的利用）から遠方から親子連れ（宿泊してもらう）まで幅広く対応。

子どもに西組のファンになってもらい、リピートを目指す！！

